

## 造林事業請負契約書(案)

1 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定金額、事業場所及び完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積	請 負 予定数量	請負予定金額	事業 場所	完了 検査 場所
6年度上川 中部署【朗 根内地区そ の2】保全 整備 (保育間伐) 第2号	保育間伐 伐採搬出 及び数量 調査	HA 195.01	m <sup>2</sup> 7,800	請負金額  円也  (うち取引に係る消費税及び地方 消費税額 円也)	事業内記 書のとおり	現地

(注) [( )の部分は、請負者が課税対象業者である場合に使用する。]

2 事業期間

自 契約締結日の翌日

(詳細は、事業内記書のとおり)

至 令和7年 2月28日

3 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。

(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択事項		選択条項
	契約保証金の納付		第4条第1項第1号
	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供		第4条第1項第2号
	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証		第4条第1項第3号
	公共工事履行保証証券による保証		第4条第1項第4号
	履行保証保険契約の締結		第4条第1項第5号
	支給材料及び貸与品		第15条
	前金払	分の 以内	第35条第1項
×	中間前金払		第35条第4項
○	部分払	月1回以内	第38条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則		第40条

(注) 国庫債務負担行為に係る契約にあつては、別紙を添付する。

4 支給材料及び貸与物件

品 名	品質規格	数 量	引渡予定場所	引渡予定月日

## 5 特約事項

- ① 上記の事業に関する保安林内作業行為協議の知事同意の範囲内で作業を行うものとする。

なお、やむを得ず知事同意の範囲を超えるおそれがある場合は、請負者は事前に発注者にその旨を届出し、理由を付して保安林内作業行為の追加・変更協議を行うことを求めるものとする。

- ② 請負者は、「国有林野事業製品生産事業請負契約約款」に定める事業計画書を作成するに当たり、技術提案書に記載された内容を反映するものとする。
- ③ 発注者が採用した技術提案については、その後の事業において、その内容が一般的に使用されている状態になった場合には、発注者は無償で使用できることとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。
- ④ 発注者が技術提案を適正と認めることにより、設計図書において事業実施方法等を指定しない部分の事業に関する請負者の責任が軽減されるものではないこととする。
- ⑤ 請負者の責により事業計画書の記載内容が満足出来ないと発注者が判断した場合は、発注者は、「国有林野事業の素材生産及び造林に係る請負事業成績評定要領の制定について(平成20年3月31日付け19林国業第244号林野庁長官通知)」に定める事業成績評定について、単年度の場合にあっては履行できなかった項目ごとに3点ずつ減ずること、複数年度にわたる事業の場合にあっては当該不履行があった年度において履行できなかった項目ごとに3点ずつ減ずることができることとする。
- ⑥ 請負者が事業計画書のうち技術提案に係わる内容を履行できなかったと発注者が認めた場合で再度事業実施が困難あるいは合理的でない場合は、発注者は契約金額の減額、損害賠償請求等を行うことができることとする。

上記の事業について、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び北海道森林管理局ホームページに掲載している「国有林野事業製品生産事業請負契約約款」（本事業の公告日現在）によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所  
分任支出負担行為担当官 印

請負者 住所  
氏名 印

[注] 請負者が共同事業体を結成している場合においては、請負者の住所及び氏名の欄には、共同事業体の名称並びに共同事業体の代表者及びその構成員住所及び氏名を記入する。

別紙

## 設計図書について

入札公告及び北海道森林管理局ホームページに掲載している設計図書（製品生産事業請負標準仕様書、北海道森林管理局製品生産事業請負仕様書、図面）については、本事業の公告日現在に交付したものとする。

# 事業内記書

No.1

事業地 又は 森林事務所	林小班	事業区分 又は作業種	樹種	面積 (ha)	数量 (m3)	作業仕様	作業期間年月日		備考	連番
							から	まで		
朗根内	1042 は	保育間伐	トドマツ	2.00	55	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 ほ	保育間伐	トドマツ	4.46	115	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 へ	保育間伐	トドマツ	17.47	460	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 と	保育間伐	トドマツ	4.20	150	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 ち	保育間伐	アカエゾマツ	4.33	170	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 り	保育間伐	トドマツ	7.25	150	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 る	保育間伐	アカエゾマツ	8.52	180	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 わ	保育間伐	トドマツ	10.40	430	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 お	保育間伐	トドマツ	11.47	490	伐採・搬出・検知				
朗根内	1042 え	保育間伐	トドマツ	2.63	120	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 い	保育間伐	トドマツ	2.44	130	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 に	保育間伐	トドマツ	17.30	520	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 へ	保育間伐	トドマツ	9.81	630	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 と	保育間伐	トドマツ	10.49	490	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 り	保育間伐	アカエゾマツ	5.25	200	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 ぬ	保育間伐	トドマツ	13.52	820	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 る	保育間伐	トドマツ	6.77	470	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 わ	保育間伐	トドマツ	4.00	190	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 か	保育間伐	トドマツ	6.62	300	伐採・搬出・検知				
朗根内	1046 た	保育間伐	トドマツ	8.90	430	伐採・搬出・検知				
朗根内	1048 た	保育間伐	カラマツ	10.35	200	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 ろ	保育間伐	トドマツ	3.00	90	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 は	保育間伐	トドマツ	1.55	70	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 に	保育間伐	トドマツ	5.00	240	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 ほ	保育間伐	アカエゾマツ	2.44	70	伐採・搬出・検知				

# 事業内記書

No.2

事業地 又は 森林事務所	林小班	事業区分 又は作業種	樹種	面積 (ha)	数量 (m3)	作業仕様	作業期間年月日		備考	連番
							から	まで		
朗根内	1049 と	保育間伐	トドマツ	7.41	330	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 わ	保育間伐	トドマツ	3.61	150	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 か	保育間伐	トドマツ	2.32	100	伐採・搬出・検知				
朗根内	1049 な	保育間伐	トドマツ	1.50	50	伐採・搬出・検知				
計				195.01	7,800					

# 事業地毎の作業条件

No.1

林小班	伐採率	伐採方法	伐採仕様 (伐採幅×残幅)	林地傾斜	法令制限	備考
1042 は	25%	列状間伐	4.0m × 12.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1042 ほ	25%	列状間伐	4.0m × 12.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1042 へ	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 と	20%	列状間伐	5.0m × 20.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 ち	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 り	20%	列状間伐	5.0m × 20.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 る	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 わ	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 お	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1042 え	33%	列状間伐	5.0m × 10.5m	20° 未満	水源かん養保安林	
1046 い	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1046 に	20%	列状間伐	4.0m × 16.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 へ	20%	列状間伐	4.0m × 16.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 と	25%	列状間伐	4.0m × 12.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 り	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1046 ぬ	20%	列状間伐	4.0m × 16.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 る	25%	列状間伐	4.0m × 12.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 わ	20%	列状間伐	4.0m × 16.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1046 か	20%	列状間伐	5.0m × 20.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1046 た	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1048 た	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	

## 事業地毎の作業条件

No.2

林小班	伐採率	伐採方法	伐採仕様 (伐採幅×残幅)	林地傾斜	法令制限	備考
1049 ろ	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 は	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 に	30%	列状間伐	5.0m × 12.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 ほ	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 と	20%	列状間伐	4.0m × 16.0m	30° 未満	水源かん養保安林	
1049 わ	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 か	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	
1049 な	25%	列状間伐	5.0m × 15.0m	20° 未満	水源かん養保安林	

事業地別伐区別立木資材と生産計画表

事業場所						伐採面積	立木資材量 (m³)						立木資材m³廻り			ha 当り 資材量	素材生産 見込利用率		素材生産請負計画量			同時販売予定量		
事業地名	事業区分	林班	小班	支番	伐区		N		L		計		N	L	計		N	L	N	L	計	N	L	計
							本数	材積	本数	材積	本数	材積												
朗根内	保育活用	1042	は			2.00	68	76.21	29	11.98	97	88.19	1.12	0.41	0.91	44	65.6	41.7	50	5	55			
朗根内	保育活用	1042	ほ			4.46	185	168.55	38	13.93	223	182.48	0.91	0.37	0.82	41	65.3	35.9	110	5	115			
朗根内	保育活用	1042	へ			17.47	1,157	612.95	363	137.31	1,520	750.26	0.53	0.38	0.49	43	63.6	51.0	390	70	460			
朗根内	保育活用	1042	と			4.20	442	213.34	80	21.93	522	235.27	0.48	0.27	0.45	56	65.6	45.6	140	10	150			
朗根内	保育活用	1042	ち			4.33	1,037	187.04	224	109.80	1,261	296.84	0.18	0.49	0.24	69	58.8	54.6	110	60	170			
朗根内	保育活用	1042	り			7.25	440	201.56	121	35.50	561	237.06	0.46	0.29	0.42	33	64.5	56.3	130	20	150			
朗根内	保育活用	1042	る			8.52	928	92.40	662	255.94	1,590	348.34	0.10	0.39	0.22	41	54.1	50.8	50	130	180			
朗根内	保育活用	1042	わ			10.40	962	419.65	842	341.26	1,804	760.91	0.44	0.41	0.42	73	62.0	49.8	260	170	430			
朗根内	保育活用	1042	お			11.47	1,078	470.22	933	382.38	2,011	852.60	0.44	0.41	0.42	74	61.7	52.3	290	200	490			
朗根内	保育活用	1042	え			2.63	321	130.85	168	68.42	489	199.27	0.41	0.41	0.41	76	61.1	58.5	80	40	120			
朗根内	保育活用	1046	い			2.44	207	126.94	281	108.71	488	235.65	0.61	0.39	0.48	97	63.0	46.0	80	50	130			
朗根内	保育活用	1046	に			17.30	1,304	731.23	579	200.43	1,883	931.66	0.56	0.35	0.49	54	57.4	49.9	420	100	520			
朗根内	保育活用	1046	へ			9.81	1,585	861.10	541	194.61	2,126	1,055.71	0.54	0.36	0.50	108	61.5	51.4	530	100	630			
朗根内	保育活用	1046	と			10.49	1,644	592.92	782	305.73	2,426	898.65	0.36	0.39	0.37	86	55.7	52.3	330	160	490			
朗根内	保育活用	1046	り			5.25	1,058	148.87	453	229.27	1,511	378.14	0.14	0.51	0.25	72	53.7	52.3	80	120	200			
朗根内	保育活用	1046	ぬ			13.52	2,188	1,188.65	674	230.15	2,862	1,418.80	0.54	0.34	0.50	105	58.9	52.1	700	120	820			
朗根内	保育活用	1046	る			6.77	1,314	724.59	243	86.20	1,557	810.79	0.55	0.35	0.52	120	59.3	46.4	430	40	470			
朗根内	保育活用	1046	わ			4.00	496	289.57	130	49.10	626	338.67	0.58	0.38	0.54	85	58.7	40.7	170	20	190			
朗根内	保育活用	1046	か			6.62	773	450.58	201	76.41	974	526.99	0.58	0.38	0.54	80	57.7	52.3	260	40	300			
朗根内	保育活用	1046	た			8.90	1,977	705.91	267	61.53	2,244	767.44	0.36	0.23	0.34	86	56.7	48.8	400	30	430			
朗根内	保育活用	1048	た			10.35	185	123.15	685	193.91	870	317.06	0.67	0.28	0.36	31	73.1	56.7	90	110	200			
朗根内	保育活用	1049	ろ			3.00	109	106.77	101	52.58	210	159.35	0.98	0.52	0.76	53	65.6	38.0	70	20	90			
朗根内	保育活用	1049	は			1.55	110	82.11	75	26.18	185	108.29	0.75	0.35	0.59	70	73.1	38.2	60	10	70			
朗根内	保育活用	1049	に			5.00	357	295.48	210	67.88	567	363.36	0.83	0.32	0.64	73	71.1	44.2	210	30	240			
朗根内	保育活用	1049	ほ			2.44	301	100.54	97	31.32	398	131.86	0.33	0.32	0.33	54	59.7	31.9	60	10	70			
朗根内	保育活用	1049	と			7.41	838	396.01	346	101.61	1,184	497.62	0.47	0.29	0.42	67	68.2	59.0	270	60	330			
朗根内	保育活用	1049	わ			3.61	549	199.04	321	60.29	870	259.33	0.36	0.19	0.30	72	60.3	49.8	120	30	150			
朗根内	保育活用	1049	か			2.32	280	126.37	191	23.32	471	149.69	0.45	0.12	0.32	65	71.2	42.9	90	10	100			
朗根内	保育活用	1049	な			1.50	313	70.51	87	14.90	400	85.41	0.23	0.17	0.21	57	56.7	67.1	40	10	50			
合計						195.01	22,206	9,893.11	9,724	3,492.58	31,930	13,385.69	0.45	0.36	0.42	69	60.9	51.0	6,020	1,780	7,800			



事業区分別立木資材と生産計画表

事業区分	伐採面積	立木資材量 (m <sup>3</sup> )						立木資材m <sup>3</sup> 廻り			ha 当り 資材量	素材生産 見込利用率		素材生産請負計画量			同時販売予定量		
		N		L		計		N	L	計		N	L	N	L	計	N	L	計
		本数	材積	本数	材積	本数	材積												
經常																			
天然受光																			
育成受光																			
誘導伐																			
保育活用	195.01	22,206	9,893.11	9,724	3,492.58	31,930	13,385.69	0.45	0.36	0.42	69	60.9	51.0	6,020	1,780	7,800			
保護伐																			
合計	195.01	22,206	9,893.11	9,724	3,492.58	31,930	13,385.69	0.45	0.36	0.42	69	60.9	51.0	6,020	1,780	7,800			





## 特記仕様書

6年度上川中部署【朗根内地区その2】保全整備（保育間伐）第2号について、下記の事項を定める。

### 記

#### 1 伐採について

1) 当該事業地のうち、1042 林班はほへとちりえ小班、1046 林班に小班、1048 林班及び 1049 林班においては、調査木の標示（No.テープ）の有無にかかわらず列状間伐ができるものとする。

2) 調査木の標示（No.テープ）がある立木を伐採しない場合、標示を剥がす必要はない。

#### 2 保安林内作業行為協議の知事同意内容の説明

当該事業の事業地の全部は水源かん養保安林に指定されており、当該事業に係る間伐及び保安林内作業行為は協議済みである。（別紙「事業地毎の作業条件」参照）

#### 3 システム販売

当該事業から出材される素材がシステム販売の対象となった場合は、採材寸法及び検知等について別途指示する。

#### 4 濁水防止対策

1042 林班及び 1046 林班の下流に上水道取水施設があることから、事業計画書に濁水対策（施工時期、施工方法、美瑛町、関係機関との協議）を記載すること。

なお、濁水を発生させた場合は直ちに事業を中断し、各関係機関と協議のうえ対策を図ること。

#### 5 事業期間の指定

当事業は、冬期事業を見込んだ設計としているが、積雪期の販売事業を考慮して冬期間の販売事業を考慮して①～④の順序に事業着手すること。なお、下記の順序について変更を要する場合には、事前に監督職員と協議し承認を得ること。

#### 予定生産量

①	1046 わかた林小班、1048 林班及び 1049 林班	（5～8月頃）	2,220 m <sup>3</sup>
②	1042 るわお林小班	（8～9月頃）	1,100 m <sup>3</sup>
③	1042 はほへえ、1046 いにへ林小班	（9～12月頃）	2,030 m <sup>3</sup>
④	1042 とちり、1046 とりぬる林小班	（12～2月頃）	2,450 m <sup>3</sup>
			計 7,800 m <sup>3</sup>

#### 6 排水管の設置

設計図書（位置図）に示している区間については、次のとおり排水管を設置するものとする。設置箇所については、監督職員等と協議の上決定すること。

ポリ波状管 φ200mm×5m×6本

#### 7 既設道維持修繕・土場に関する事項

##### 1) 既設道の維持修繕

1049 林班・朗根内作業道については、車両の通行に支障がないよう、路体の維持修繕を行

うものとする。

## 2) 既設道の敷砂利

次に定める仕様により敷砂利を行うものとする。実行にあたっては監督職員等と協議の上決定すること。

- ① 敷 幅：3mの範囲内
- ② 敷 厚：10～20cm
- ③ 切込碎石：80mm級（再生骨材や、左記より細かい粒径のものは使用不可）

3) 各土場について、運材に支障がないよう次に定める仕様により敷砂利を行うものとする。設置位置や形状については、監督職員等と協議の上決定すること。

- ① 敷 幅：3mの範囲内
- ② 敷 厚：10～20cm
- ③ 切込碎石：80mm級（再生骨材や、左記より細かい粒径のものは使用不可）

4) 敷砂利分の「納入伝票」及び「納品書等」を（部分）完了検査時に提出すること。

※納品書等とは、碎石プラント等から受注者に対し、当該数量を納品したことを証明する一覧表とする。

## 8 除雪に関する事項

冬期間における通勤路については、関係者の車両通行に支障がないよう除雪を行うこと（待避箇所・車廻しを含む）。

## 9 誤伐防止

誤伐防止のため別紙「誤伐防止のためのチェックポイント」を事業計画書の承認を受けた後事業着手前に提出すること。

## 10 工程管理

1) 「製品生産事業請負実行管理基準」に定める作業日報は、請負者自らが定め使用する作業日報であり、それとは別に様式2により作業種毎の工程管理用の作業日報を作成すること。

なお、当該様式に定める工程管理用の作業日報の内容が網羅されている場合は、請負者自ら定め使用する作業日報に置換えることは可とする。

2) 事業着手日以降の翌月10日までに様式2「作業日報」により整理した内容を様式3「週集計表」、様式4「月集計表」へ集計し、様式1作業種毎の「月別工程管理表」により提出すること。

※様式1「月別工程管理表」に様式2「作業日報」、様式3「週集計表」を添付し提出すること。但し、様式3「週集計表」は契約後発注官署と調整のうえ省略することは可とする。また、工程管理用の作業日報は別途指示する「作業日報アプリ」による提出に置き換えることも可とする。

11 以上の記載事項以外に、指示・承認を要する事案が生じた場合には、監督職員等と協議すること。

別紙

# 製品生産における誤伐防止のためのチェックポイント

年 月 日

発注者

分任支出負担行為担当官

森林管理（支）署長 殿

請負者

住所

氏名

年 月 日契約した 年度〇〇署【△△地区】保全整備（保育間伐）第〇号について、下記事項の通り提出いたします。

区 分	チェックポイント	チェック		
		はい	該当なし	
保安林協議	保安林伐採協議及び作業行為の知事同意済内容を確認しましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	特に土場・森林作業道の作設面積は、確認しましたか	<input type="checkbox"/>		
契約書と図面等の事前確認	契約書・仕様書・特記仕様書等の確認をしましたか	<input type="checkbox"/>		
	関係図簿等の資料を確認しましたか	<input type="checkbox"/>		
	隣接地に収穫調査、立木販売済箇所及び分収林の有無を確認しましたか	<input type="checkbox"/>		
	伐採区域内における伐採除外地の有無を確認しましたか	<input type="checkbox"/>		
境界の現地確認	林小班及び伐採区域の現地確認をしましたか	<input type="checkbox"/>		
	隣接地の収穫調査、立木販売済箇所及び分収林を現地確認しましたか	<input type="checkbox"/>		
	伐区界等の不明箇所がありましたか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	(ある場合)不明箇所を監督職員等に確認依頼しましたか	<input type="checkbox"/>		
支障木の取扱(裏面)	立木販売と製品生産事業での支障木の取扱方法の相違を理解しましたか	<input type="checkbox"/>		
	作業従事者に上記について周知しましたか	<input type="checkbox"/>		
作業従事者・下請者への指導	作業従事者に図面等を配布し、次のことを指導しましたか			
	・ 伐採区域の標示方法	<input type="checkbox"/>		
	・ 伐採方法（帯状、定性等）及び伐採仕様（伐採率）	<input type="checkbox"/>		
	・ 調査木の標示方法（No.テープの記号、番号、色別）	<input type="checkbox"/>		
	・ 伐採除外地の有無	<input type="checkbox"/>		
	・ 伐採除外地の標示方法	<input type="checkbox"/>		
作業従事者に上記について不明な場合は現場代理人へ報告するよう指導しましたか	<input type="checkbox"/>			
	丸太・砂利等運搬を除き、下請け作業がある場合、下請者に作業従事者と同様のことを指導しましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

注：このチェック表は、事業計画書の承認を受けた後、**事業着手前に監督職員に提出してください。**

監督職員

年 月 日

官職氏名

# 支障木の取扱

項目	立木販売		製品生産事業	
	伐区内	伐区外	伐区内	伐区外
伐倒支障木	伐倒支障木が発生する場合は、買受人は支障木届を森林官等に提出し、森林官等の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は代金納入後に森林官等の指示により行う</u>	同左	伐倒支障木が発生する場合は、請負者は支障木届を監督職員に提出し、監督職員の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は監督職員の指示により行う</u>	同左
損傷木	損傷木が発生した場合は、買受人は支障木届を森林官等に提出し、森林官等の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は代金納入後に森林官等の指示により行う。</u>	同左	損傷木が発生した場合は、請負者は支障木届を監督職員に提出し、監督職員の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は監督職員の指示により行う。</u>	同左
搬出路等支障木	搬出路支障木が発生する場合は、買受人は支障木届を森林官等に提出し、森林官等の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は代金納入後に森林官等の指示により行う。</u>	同左	森林作業道支障木は、予め本物件の調査結果を活用して資材に繰入れ払出済のため、支障木届の提出は必要ない。	森林作業道支障木が発生する場合は、請負者は支障木届を監督職員に提出し、監督職員の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は監督職員の指示により行う。</u>
土場支障木	土場支障木が発生する場合は、買受人は支障木届を森林官等に提出し、森林官等の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は代金納入後に森林官等の指示により行う。</u>	同左	土場支障木が発生する場合は、請負者は支障木届を監督職員に提出し、監督職員の指示により伐倒を行う。 <u>※伐倒開始は監督職員の指示により行う。</u>	同左

(様式1/署提出用)

作業種	保育間伐(活用型)
主間伐別	間伐(列状)

# 月別工程管理表

令和 年 月 日 毎月提出

宛て

契約事業名					作業種	保育間伐(活用型)	誘導伐	育成受光伐	天然林受光伐	計
事業期間					契約内訳					
実事業期間					請負生産予定量					0
事業体名					生産量(実績)					0
受注形態(単独・共同)			構成員数	社	進捗率					
請負者名 (単体受注の場合代表者欄記載) (※共同事業体の場合記載)	代表者				所在地				事業地	分
	※構成員				所在地				までの	分
	※構成員				所在地				大凡通	分
	※構成員				所在地				勤平均	分
								時間		

作業工程	実働日(日)	前月末累計		-1月		-1月末累計		生産性 A/B (㎡/人日)
		実行量 (㎡)	人工数 (人日)	実行量 (㎡)	人工数 (人日)	実行量 A(㎡)	人工数 B(人日)	
		日	日	日	日	日		
伐倒	チェーンソー							
	フェラーバンチャ							
	ハーベスタ							
木寄せ(グラブプル等)								
集材	グラブプル(積込)							
	フォワーダー							
造材	ハーベスタ							
	プロセッサ							
	チェーンソー							
巻立て(グラブプル)								
形量品質検知・桎検知・層積検知								
森林作業道作設・修繕								
引込線作設・修繕(砂利敷を含む)								
機械搬入・搬出								
踏査(表示、幅出し等)								
打合せ								
運材・輸送(トラック)								
その他(〇〇)								
その他(〇〇)								
その他(〇〇)								
その他(〇〇)								
計			0		0		0	
生産性								

注1  セルにのみ入力

注2 その他(〇〇)には、具体的用語を記載するとともに適宜行を追加することとする。



(様式2/事業体用)

# 作業日報 ( 班 )

共同事業体の場合は、それぞれの構成員により週集計表まで作成し、月集計表において合算

年月日	令和	年	月	日 ( )	【必要事項の記載(メモ)】
天候		当日従事者数		人	
作業箇所	国有林		林小班 外 1		
作業種		主間伐別		伐採方法	
具体的伐採方法	例: 帯状Om伐採Om残し				

※同日に複数作業種(主間伐別)を稼働させている場合、集計を別様とし整理すること。但し、人工林の育成受光伐は保育間伐活用型と一体で整理して構わない。

(作業者及び作業時間)

作業工程	作業種	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計 (時間)	備考	
		(作業量)		(機械等) ※具体的な機種名を記載 例: フラーハンチャザウルス							
伐倒	チェーンソー								0	本	m
	フェラーハンチャ								0	本	m
	ハーベスタ								0	本	m
木寄せ (グラブ等)									0	約	m
集材	グラブ(積込)								0	約	m
	フォワーダー								0	約	m
造材	ハーベスタ								0	約	m
	プロセッサ								0	約	m
	チェーンソー								0	約	m
巻立て (グラブ)									0	約	m
形量品質検知・極検知・層積検知									0		m
森林作業道作設・修繕									0		m
引込線作設・修繕(砂利敷を含む)									0		m
機械搬入・搬出									0		m
踏査(表示、幅出し等)									0		m
打合せ									0		
運材・輸送(トラック)									0	約	m
その他(〇〇)									0		
その他(〇〇)									0		
その他(〇〇)									0		
その他(〇〇)									0		
計 (時間)		0	0	0	0	0	0	0	0		

※その他の作業種で人工計上の必要がある場合は適宜行を追加すること。

監督員の指示事項等	
-----------	--

注1: セルにのみ入力

注2: その他(〇〇)には、具体的用務を記載

(様式3/事業体用)

## 週 集 計 表 (   班 )

週	月	第	週	( 令和	年	0	月	~	日	)
作業箇所	国有林			林小班 外			箇所	作業種		
								主間伐別		

(作業時間集計)

作業工程	作業種 主間伐別	月		火	水	木	金	土	日	計 (時間)	作業量 (m <sup>3</sup> )
		月	日								
		名	名	名	名	名	名	名	名		
伐 倒	チェーンソー									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
	フェラーパンチャ									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
	ハーベスタ									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
木寄せ (グラップル等)										0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
集 材	グラップル(積込)									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
	フォワーダー									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
造 材	ハーベスタ									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
	プロセッサ									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
	チェーンソー									0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
巻立て (グラップル)										0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
形量品質検知・極検知・層積検知										0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m <sup>3</sup>
森林作業道作設・修繕										0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m
引込線作設・修繕(砂利敷を含む)										0	約 <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px 10px;"> </span> m
機械搬入・搬出										0	/
踏 査(表示、幅出し等)										0	/
打合せ										0	/
運材・輸送(トラック)										0	/
その他(〇〇)										0	
その他(〇〇)										0	
その他(〇〇)										0	
その他(〇〇)										0	
計 (時間)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1  セルにのみ入力

注2 その他(〇〇)には、具体的用語を記載するとともに行が不足する場合は適宜行の追加をすること。

(様式4/事業体用)

作業種						月集計表( 班)		
主間伐別								
契約事業名: ○○年度○○署【○○地区】保全整備(保育間伐等)第○号						事業体情報		
予定生産量	保育間伐(m)	誘導伐(m)	育成受光伐(m)	天然林受光伐(m)	合計(m)	事業体名		
当月予定量					0	会社所在地	町(市)	通勤時間 約
当月末累計予定量					0	受注形態(単独・共同)	構成員数	社
当月実行量					0	※構成員(当該事業体名)		
当月末実行量累計					0			
進捗率	当月進捗率	累計進捗率						

※共同事業体の場合は記載

(作業時間集計・生産性算出)

週別 実稼働日		1日の平均 実稼働時間					計 (時間) (a)	人工数 <人日> (A)=a/実稼働時間	作業量 <m> (B)	生産性 <m/人日> (B/A)
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週				
		日	日	日	日	日				
作業工程	チェーンソー									
	フェラーバンチャ									
	ハーベスタ									
木寄せ(グラブブル等)										
集材	グラブブル(積込)									
	フォワーダー									
造材	ハーベスタ									
	プロセッサ									
	チェーンソー									
巻立て(グラブブル)										
形量品質検知・極検知・層積検知										
森林作業道作設・修繕										
引込線作設・修繕(砂利敷を含む)										
機械搬入・搬出										
踏査(表示、幅出し等)										
打合せ										
運材・輸送(トラック)										
その他(○)										
その他(○)										
その他(○)										
その他(○)										
計(時間)										

注1 セルにのみ入力

注2 その他(○)には、具体的用語を記載するとともに適宜行を追加することとする。



チェック	様式NO	提出様式	チェック	添付資料等	備考	
□	1	競争参加資格確認申請書(表紙)	<input type="checkbox"/>	全省庁統一資格の資格確認通知書(写)	共同事業体による申請の場合は構成員全員	
			<input type="checkbox"/>	林業労働力の確保の促進に関する法律第5条第1項に基づく都道府県知事からの認定を証明する書類(写)		
			<input type="checkbox"/>	共同事業体協定書	共同事業体による申請の場合	
□	2	同種の事業の実績	<input type="checkbox"/>	実績として記載した事業に係る契約書等(写)		
□	3	配置予定の技術者の資格等	<input type="checkbox"/>	法令等による技術者の資格・免許 入札公告の(ア)~(カ)の資格	資格・免許を保有していることが確認出来る修了証書等の写し	
			<input type="checkbox"/>	上記法令等による技術者の資格・免許の保有がない場合、同様の資格として認められる過去15年のうち3年以上森林整備事業に従事した実績を記載。実績として記載した事業に係る契約書等(写)	技術者の経験が証明できる書類 経歴書等の場合は、事業主の証明あるもの	
			<input type="checkbox"/>	入札参加者が直接雇用していることが判る書類(写)	保険証の写しなど 経歴書等の場合は、事業主の証明あるもの	
競争参加資格確認申請書	4	従事予定の技能者の資格等	<input type="checkbox"/>	チェーンソー	伐木等の業務に係る特別教育の修了証書(写) ※令和2年7月まで有効な伐木等の業務8号の場合、補講に関する特別教育の修了証書(写)	チェーンソー手帳は講習受講・修了等証明付のもの
			<input type="checkbox"/>		伐倒・造材 高性能機械	
			<input type="checkbox"/>	高性能林業機械に関する受講証明等		経歴書等の場合は、事業主の証明あるもの
			<input type="checkbox"/>	伐木等機械運転特別教育の修了証書(写)		
			<input type="checkbox"/>	木寄・集材		車両系建設機械運転技能講習の修了証書等(写)
			<input type="checkbox"/>		伐木等機械運転特別教育の修了証書(写)	
			<input type="checkbox"/>		走行集材機械運転特別教育の修了証書(写)	
			<input type="checkbox"/>		架線集材機械等運転特別教育の修了証書(写)	
			<input type="checkbox"/>	巻立	車両系建設機械運転技能講習の修了証書等(写)	
			<input type="checkbox"/>		はい作業主任者技能講習の修了証書等(写)	
			<input type="checkbox"/>		伐木等機械運転特別教育の修了証書(写)	
			<input type="checkbox"/>	路網・土場	車両系建設機械運転技能講習の修了証書等(写)	
			<input type="checkbox"/>		地山の掘削作業主任者技能講習の修了証書等(写)	
			<input type="checkbox"/>	輸送	車両系建設機械運転技能講習の修了証書等(写)	輸送を含む事業でグラブプル使用時
			□	5	社会保険等への加入状況	<input type="checkbox"/>
□	6	検知業務実績証明書	<input type="checkbox"/>	実績として記載した事業に係る契約書等(写)		
□	7	農林水産業・食品産業の作業安全のための規範(個別規範:林業)事業者向けチェックシート	<input type="checkbox"/>		共同事業体による申請の場合は代表者のみ	

	チェック	様式NO	提出様式	チェック	添付資料等	備考		
	<input type="checkbox"/>	1	技術提案書(表紙)	-	-			
	<input type="checkbox"/>	2	事業計画上の考慮事項等	<input type="checkbox"/>	-	必要に応じて参考図書を添付		
	<input type="checkbox"/>	2-1	事業計画の工程管理	-	-			
技術提案書	<input type="checkbox"/>	3	企業の事業実績等	<input type="checkbox"/>	事業に関する「表彰実績」がある場合はその表彰状(写)			
				<input type="checkbox"/>	「同種事業の実績」がある場合はその事業の契約書等(写)	同種事業であることが分かるもの(必要に応じ資料を添付)		
				<input type="checkbox"/>	「緑化活動」の実績がある場合はその契約・協定書等(写)			
				<input type="checkbox"/>	「災害協定」を結んでる場合は、協定期間が確認出来る契約・協定書等(写)			
				<input type="checkbox"/>	「ボランティア活動(防災等関連)」の実績がある場合は実施年月日、実施場所、実施概要がわかるもの(写)			
				<input type="checkbox"/>	エゾシカ被害対策について、直接捕獲事業にかかわる請負の実績がある場合は契約書(写)、ボランティアによる実績がある場合は実施年月日、実施場所、実施概要がわかるもの(写)			
				<input type="checkbox"/>	間接的な捕獲の実績がある場合は、情報提供内容が確認できるGPS情報、写真、図面等、又は事業者による狩猟免許取得・更新に係る費用負担や有害鳥獣捕獲等への参加のための特別休暇付与を証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	森林管理経営法に基づき市町村から経営管理実施権の設定を受けている場合、そのことを証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	森林管理経営法第36条第2項の要件に適合する者(意欲と能力のある林業経営体)として、都道府県から公表されている場合は、公表されていることを証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	都道府県において「育成を図る林業経営体」(H30.2.6長官通知)に選定されている場合は、そのことを証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	森林法に基づく森林経営計画を自ら作成し、認定を受けている場合、森林経営計画認定書(写)			
				<input type="checkbox"/>	民有林実績 民有林における森林整備の実績がある場合、契約書等(写)			
				<input type="checkbox"/>	若者雇用促進法による「ユースエール認定企業」の場合は公表されている認定書等の写し。「若手技術者等への登用・育成」の実績がある場合は、雇用通知書及び身分証明書等(写)、又は各種取組みを証明できる資料等(写)	活動内容の分かるもの(必要に応じ資料を添付)		
				<input type="checkbox"/>	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の作成によりウェブサイト上に公表している内容が確認できる認定書等(写)。「女性技術者等の登用促進」の実績がある場合は、現場に直接従事していることを確認出来る資料、又は各種取組みを証明できる資料等(写)			
				<input type="checkbox"/>	次世代法に基づく「トライくるみん認定企業」、「くるみん認定企業」、「プラチナくるみん認定企業」の認定書等(写)、又は「くるみん認定企業」(次世代育成支援対策推進法)の認定基準である7、8及び9を証明できる資料(写)			
				<input type="checkbox"/>	伐採・造林に関する行動規範と当該規範を遵守している旨を記載した誓約書			
				<input type="checkbox"/>	生産性向上 生産性向上を目的とした工程管理を行い、その結果から改善点を把握し、その後の事業により改善されたことが説明出来る資料又は工程管理を行ったことを証明できる資料等			
				<input type="checkbox"/>	技術向上 現場従事者の技術向上を目的とした取組みを証明できる資料等			
				<input type="checkbox"/>	休日数確保 就業規則、雇用通知書等(写)			
				<input type="checkbox"/>	休業4日以上労働災害無しの実績を継続していることを証明できる資料又は労働者死傷病報告等の災害概要がわかる書類			
				<input type="checkbox"/>	労働安全コンサルタントによる安全診断又はリスクアセスメントに取り組んでいる場合、実施していることを証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	北海道林業事業体登録制度のホームページ上に公表されている「北海道林業事業体登録情報」(「北海道林業事業体登録実施要綱」による登録を受けており、その状態が継続していることを証する資料)			
				<input type="checkbox"/>	退職金共済契約締結の事実を証明する資料			
				<input type="checkbox"/>	3-1 企業の事業実績等(作業員の雇用形態)	<input type="checkbox"/>	作業員の雇用形態を証明する資料として「作業従事者の雇用形態状況」(様式3-1)	
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	「作業従事者の雇用形態状況」(様式3-1)により記載された月給制導入の有無について、証明する資料(雇用通知書や就業規則等)	
				<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	「作業従事者の雇用形態状況」(様式3-1)により記載された作業員別の居住地を証明する資料	免許証等の公的書類の写し(氏名と住所以外は黒塗りとする)等
				<input type="checkbox"/>	4 配置予定技術者の資格・経験	<input type="checkbox"/>	保有資格(技術士(森林部門)、林業技士、ファレストマネージャー等)の保有を証明する書類(写)。保有資格がない場合、現場代理人として10年間同種事業を経験したことを証明する履歴書等。	履歴書・経歴書等の場合は、事業主の証明あるもの
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	研修等の受講状況、林業に関する継続教育(CPD)を証明する書類(写)	研修受講修了証等(写) 受講記録証明書等				
<input type="checkbox"/>	5-1 5-2 従業員への賃金引上げ計画の表明書	<input type="checkbox"/>	中小企業等の場合、直近の事業年度の「法人税申告書別表1」	別表1次葉は不要				
その他	<input type="checkbox"/>		その他	<input type="checkbox"/>	必要により特記事項で求めているものがあれば			
				<input type="checkbox"/>	返信用封筒(電子メール及び電子入札による場合は不要)	簡易書留料金の切手貼付確認		